

現場だより	1-2
就活イベント「インターンシップ」	3
Eco Action!	
特集「職域接種」	4
受賞レポート	5
PLUS NEWS !!	6



帯広広尾自動車道 大樹町基線改良工事において撮影した現場担当職員らの集合写真。足場での作業の際にはフルハーネス型安全帯を装着している(撮影:業務課 岩本李里)

現場だより

工事名：帯広広尾自動車道 大樹町 基線改良工事

施工場所：広尾郡大樹町

施工期間：令和3年3月31日～令和3年12月8日

発注者：帯広開発建設部

請負者：西江建設株式会社

請負金額：359,656,000円（税込）

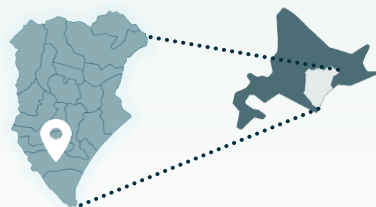
進捗率：70%（9月3日時点）

はやし のぶひろ さわの ひろき まるやま しょうた

現場職員：林 睦寛、澤野宏貴、丸山翔大、

こばやし そら はるい しょうご

小林蒼空、春井翔伍



GENBADA YORI

西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！

リアルな現場の声をお届けします。

工事概要

本工事は、帯広広尾自動車道において、道路本体の道路土工、ボックスカルバート工、橋梁上部工を施工する工事です。

帯広広尾自動車道は、北海道横断自動車道(道東自動車道)の帯広JCTから分岐し、とかち帯広空港等を経由して、広尾町に至る延長約80kmの高規格幹線道路です。高速道路ネットワークの拡充による地域間交流の活性化や物流効率化及び医療の安全性向上の支援などを目的とした道路です。平成15年に第1弾として帯広JCT～帯広川西ICが開通し、平成27年までに忠類大樹ICまでの約58kmが順次整備されています。当現場の工事箇所は、忠類大樹ICから約2km南に位置しています。

本工事では、盛土、切土、ボックスカルバート、橋梁上部など、多工種にわたり施工をしています。ボックスカルバートは2基施工しており、1基は「サンドイッチ頂版」を用いています。通常はカルバートの頂版上に50cm程度の盛土が必要ですが、コンクリートを鋼板で挟み込んだサンドイッチ頂版との複合構造にすることで、頂版上に舗装を直接施工することが可能になります。カルバート箇所だけでなくその前後の広い範囲の盛土が低くできるので、盛土量や用地面積が低減し、事業費を削減できる構造形式です。

サンドイッチ頂版を用いた複合構造ボックスカルバートは、特に平野部に建設される盛土形式の高規格幹線道路などに用いられています。当社としては帯広広尾自動車道で4基目の施工で、過去の経験を活かし、さらなる品質向上を目指し施工管理に努めています。

現場代理人

林 睦寛

HAYASHI NOBUHIRO



監督員とのコミュニケーション

当現場の監督員が2年目の若手職員です。現場の進め方や施工機械・施工方法等、初めての経験が多いようなので、いつもじっくりと打合せを行っています。図面や参考文献等の説明資料をたくさん用意して、齟齬がないように一つずつ丁寧に説明して、理解を深めています。

この現場でもっとも達成感・やりがいを感じる事

盛土、排水構造物、ボックスカルバート、サンドイッチ頂版、プレストレスト・コンクリート橋と、様々な工種を約半年間でほぼ同時に施工することにやりがいを感じています。



▲ 施工前



▲ 施工中



▲ ICT建機による
法面仕上げ



▲ プレストレスト・
コンクリート橋 架設



▲ コンクリート打設



▲ 現場全景

仕事のこだわりと目指す技術者像

仕事のこだわりは、現場代理人(指揮・指導する立場)として最も必要な要素だと思っている「即断即決」。そして「難しい問題点をシンプルに考え、スマートに解決する」こと。難しく考えすぎて余計複雑にしている人もいますが、本質を見抜けば、物事は意外と簡単に解決できていると思っています。

目指す技術者像は「(技術者+交渉者)÷2のような人物」。モノを作るのは職人さん。モノを作って提供するのが技術屋さん。更に良い技術屋さんは、関係各所との連携や対応、交渉がしっかりできる。これは現場のスムーズな進行と利益につながります。

そしてもう一つ目指しているのは、NHK教育テレビ(現:Eテレ)の教育番組『できるかな』のノッポさん。小さい時、身近なものを使って工作をするノッポさんを見たのがモノづくりの楽しさを知ったきっかけで、この仕事に繋がっています。

他の職員と仕事をするうえで心掛けていること

ただ仕事を教えるだけでなく、自分で調べ・考える習慣を身に付けてもらうよう、バランスを取りながら進めています。また、「上手くいってる?」「気になることはある?」と声をかけるよう心掛けています。新入社員の二人は、新社会人として色々なことを吸収しています。伸びしろが大きいので、これからの更なる成長に期待しています!



春井工事課員

私が測量しているとき「こうした方が測量の精度が上がるし相手からも見やすくなる」など、理由を明確にしてアドバイスをしてくれたり、逆に「なぜだと思う?」と自分で考える癖を持つように指導してくださる上司です。入社して最初に配属になった現場の代理人が林さんで良かったと思っています。



小林工事課員

いつもは優しく楽しい会話が多い方で、仕事では先を見据えて効率よく計画される上司です。ある日、翌日やることを聞かれ「考えていませんでした」と答えると林さんの野帳を見せてくれました。そこには予定がびっしりと書かれていて、どれだけ経験があっても毎日の丁寧な積み重ねが大事なんだと学び、自分も見習っています。

休みの日の過ごし方

私が仕事をしている間、ワンオペ育児状態の妻の負担を軽減すべく、休日は育児(主に遊び)に勤しんでいます!子供たちが大きくなって、かまってくれなくなる日が来たら…。その時は趣味の釣りなどを復活する予定です。

建設業とは

『蛇口をひねれば水がでる』

『朝の出勤時には道路の除雪がされている』

『大雨が降っても水害が発生しない』

これらは、多くの人にとって“当たり前”のことです。でもその当たり前の裏側では、建設業に従事する人たちが日々頑張っているということを、世間の方々に知ってほしいと思っています。

建設業は、見えないところでインフラを支えるとても誇りある仕事です。

工事課 工事長

平成9年入社
(25年目)

北海学園大学
工学部出身

趣味：
山岳スキー
登山、釣り

就活イベント

RECRUIT EVENT

各種イベントの様子や就活に役立つ情報をお伝えします。
なお、単独説明会は帯広本社・札幌支店・オンラインで随時開催中！

インターンシップ

8月23日(月)～8月27日(金)、北見工業大学3年生の2名が当社の「5DAYS インターンシップ」に参加してくれました。工事の進め方や施工方法、ICT建機のことなど、大学で学んでいる知識を活かし、専門的な質問を次々と投げかけていて職員も驚いていました。参加してくれてありがとう！

1



会社説明会

現場見学

3Dレーザースキャナーを使った測量実習

2



ペンケオタソイ川砂防工事(補正・繰越)など十勝管内4か所の現場見学会

3



施工管理業務体験

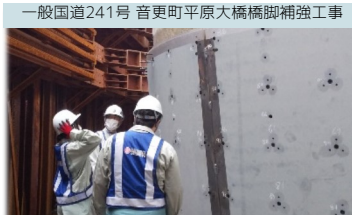
4

先輩職員との座談会

5



▲ 初日は当社について知ってもらうことから始まります



▲ 午後は現場見学と測量実習



▲ 最新技術を使った施工に興味津々



▲ 現場代理人が驚くほど専門的な質問をしてくれた2人



▲ 3～5日目は現場での実習。施工管理業務のうち、書類作成などを体験してもらいました



▲ 女性技術者との座談会。「まだ女性は少ないけど、私達の要望を聞いてすぐ取り入れてくれる会社」と佐藤主任(写真右)

ECO ACTION

西江建設は、社会資本整備を担う会社として地球環境保全について真剣に考えています。
地域住民・協力会社の方々に呼びかけ、共に取り組んでいる様々な活動についてご紹介します。

本社周辺 地域美化活動

平成14年から地域美化を目的に取り組んでいる花壇造成活動は、今年で20年目を迎えました。新十勝大橋町内会の皆さん、北洋道路(株)、三和警備(有)と協力し、北1丁目線周辺(西2条～西5条の450m)の花壇に栽植しました。

今年は、6月2日(水)に本社周辺の花壇造成を行いました。計1,900本のマリーゴールドとサルビアが道路を鮮やかに彩っています。長い期間、花壇を楽しんでもらえるよう手入れも欠かしません。植え付け後の追肥と、必要に応じて散水を行い、毎月末には本社の職員総出で草抜きをしています。

抜いた雑草は、米ぬか等を混ぜ込んで堆肥づくりに役立てています。栽植前の花壇に、この自家製堆肥を混ぜ込むことが綺麗な花壇づくりの秘訣です。



当社公式キャラクターにつく

平成23年、地域の景観づくり活動に取り組む企業として「北海道景観づくりサポート企業」※に登録されました！



※ 北海道建設部まちづくり局都市計画課によって認定



▲ 丁寧に手入れをしています



▲ 今年も綺麗に咲きました！



▲ 堆肥づくりの様子

特集「職域接種」

概要

西江建設(株)は、当社職員とその家族ならびに協力会社34社の職員とその家族(いずれも18歳以上)約1,000名を対象に、新型コロナウイルスワクチン(武田/モデルナ社製)の職域接種をしばた整形外科クリニック様と帯広第一病院様にご協力頂き実施致しました。

1回目は7月11日(日)と7月18日(日)の2日間で1,000名、2回目は8月8日(日)と8月22日(日)の2日間で980名が接種を完了しました。体調不良等を理由にキャンセルとなった方も、9月4日(土)・9月5日(日)に(一社)帯広建設業協会で行われた職域接種において2回目の接種を完了しています。

※武田/モデルナ社のワクチンの一部ロットについて異物混入の報道がありました。当社で使用したワクチン(ロットNo.3002337/3003654/3004220/3004495/3004232/3005240)は該当していません。

職域接種の難しさ

当社職員、協力会社などを中心に希望者を募りましたが、追加とキャンセルの連絡が相次ぎ、ワクチンを余らせないための調整に追われる毎日でした。予定日ギリギリまで変動があり、運営することの困難さを身にしみて感じました。

ワクチンは、徹底した温度管理のもと-20℃で冷凍した状態で保管し、接種前日に2~8℃に保たれた冷蔵庫で解凍する必要があります。1本のバイアルから10人分のワクチンをとることができますが、一度解凍したワクチンは保存しておくことができません。つまり、当日にキャンセルが出てしまうと、その分のワクチンは廃棄するほかないということです。

ワクチンを無駄にしないためにも、キャンセルが出た際に代わりに接種する方を確保する必要があります。各社と調整を重ね、本人了承のもと代替人員を確保しておくなど、常に先を見越して計画する必要があります。

予期せぬトラブル

当初、2回目のワクチン接種は8月8日(日)と8月15日(日)の2日間を予定していました。しかし、厚生労働省に確認したところ、ワクチン不足を理由に8月9日(月)の週に届くはずのワクチンが届かないことが判り、8月15日(日)の接種を延期せざるを得ない状況となりました。



今回の職域接種にあたりお力添えを頂いた医療従事者の皆様、スタッフとして参加いただいた協力会社の皆様、そして円滑な運営にご協力頂いた関係各位に心より御礼申し上げます。

さらに、接種予定者の方が濃厚接触者と認定され、接種日数日前に十数件のキャンセルが相次ぐなど予期せぬトラブルに見舞われながらも、関係各所のご協力のもと、のべ4日間の職域接種を無事に終えることができました。

寄せられた感謝の言葉

運営には様々な苦労がありました。しかし、新型コロナウイルスの有効な予防策であるワクチン接種をいち早く行えたことで、接種された方の安心・安全確保につながったと考えております。

接種対象となった会社社長からはもちろん、接種を受けられた方からも、『駐車場内整理・誘導及び会場内の案内等、貴社社員様には休日返上で暑い中大変お世話になり、ありがとうございました。大変スムーズな進行で、短時間で終了出来たので良かったです』『町の集団接種があまり進んでいなかったの、こんなに早く受けられるとは思っていませんでした。予約ができない等の苦労もなく、とてもありがたかったです』など感謝の言葉がたくさん寄せられ、当社としても最大の地域貢献ができた大変嬉しく思っています。

これから

十勝管内の建設業3社1団体が行う職域接種が、新型コロナウイルス感染収束の一助となり、地域の経済活動が一日も早く戻ることを願っています。

当社では、ほとんどの職員が2回目のワクチン接種を終えました。しかし今後も気を抜くことなく、これまで実施してきた感染対策(令和2年12月発行 西江通信 秋号 vol.6 で掲載)を徹底し、全職員で感染拡大防止に努めて参ります。

- ・接種日 : 1回目 7月11日(日)、7月18日(日)
2回目 8月8日(日)、8月22日(日)
- ・接種会場 : 西江建設(株) 本社(西4北2)
- ・対象者 : 当社職員とその家族 137名
協力会社社員とその家族 863名 合計1,000名
- ・ワクチン : 武田/モデルナ社製 COVID-19ワクチンモデルナ筋注
- ・医療関係者 : しばた整形外科クリニック(西2北1)
帯広第一病院(西4南15)
佐藤葉剤師、内山葉剤師
- ・運営スタッフ : 当社役職員、永光建設(株)、東光舗道(株)、栗林建設(株)
栗建機工(株)、北海道道路保全(株)



▲ 接種に来られた方の様子



▲ パーティションで区切られた問診部屋と案内スタッフ(写真右)



▲ ワクチン接種後の経過観察



▲ 密集を防ぐための案内表示



▲ 各所に貼られた順路案内

受賞レポート

工事成績優秀企業表彰

昨年に続き、2年連続で北海道開発局より工事成績優秀企業として認定されました。この認定は、過去2か年度に完成した一般土木工事等の実績を3件以上有する企業で、工事成績評定の平均点が一定以上(今年度は平均80.0点以上)の企業が認定されるもので、当社は平均80.4点でした。なお、授与式は10月4日(月)に予定されています。



対象となった工事

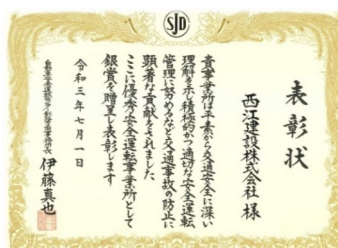
・札幌開発建設部	幾春別川総合開発事業の内 緋桂橋下部外工事	80点	(現場代理人 林 睦寛)
・帯広開発建設部	十勝川維持工事の内 猿別川河道掘削外工事	82点	(現場代理人 村田高広)
・札幌開発建設部	石狩川改修工事の内 晩翠遊水地晩翠樋門周囲堤盛土工	82点	(現場代理人 青木 功)
・札幌開発建設部	石狩川改修工事の内 千歳築堤盛土工	79点	(現場代理人 鈴木康貴)
・帯広開発建設部	一般国道38号 豊頃町豊頃大橋耐震補強工事	81点	(現場代理人 中島 陽)
・帯広開発建設部	十勝川改修工事の内 音更築堤下流堤防保護工事	79点	(現場代理人 青木 功)
・帯広開発建設部	十勝川改修工事の内 明野樋門上流河道掘削外工事	80点	(現場代理人 渡部勝幸)

優秀交通安全事業所表彰

7月6日(火)、本社社長室において自動車安全運転センターより表彰状を授与されました。

過去1年間において、交通違反発生率を全従業員(運転免許所有者)の4%以下に抑えられたため、自動車安全運転センター 北海道釧路方面事務所 伊藤真也所長より、優秀交通安全事業所表彰 銀賞を授与されました。

昨年に引き続き、2年連続での銀賞受賞となります。今後も全社を挙げて交通ルールを順守し、一人一人が安全運転に努めて参ります。



▲(左)西江社長(右)伊藤所長

JUSHO REPORT!

西江建設が頂いた感謝状、表彰についてご紹介します。

感謝状

7月27日(火)、28年災ペケレベツ川災害復旧助成工事12工区<現場代理人 中島陽>、および造林沢川砂防工事(補正・繰越)<現場代理人 小川真司>では、社会貢献活動として清水町の児童館周辺の危険な立ち木等を伐採しました。

この活動が周辺の環境向上に貢献したとして清水町 阿部一男町長より感謝状を頂きました。



工事課 工事長
中島 陽



工事課 工事長
小川真司



▲左から宮脇取締役営業部長、阿部町長、小原常務取締役、小川工事長、中島工事長

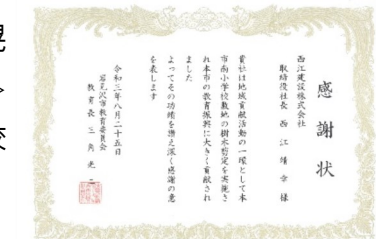
感謝状

8月25日(水)、石狩川改修工事の内 北村幌達布地区攪拌土造成工事<現場代理人 渡部勝幸>では、社会貢献活動として岩見沢市立南小学校の樹木剪定・伐開を行いました。

この活動が市の教育振興に貢献したとして、岩見沢市教育委員会 三角光二教育長より感謝状を頂きました。



工事課 工事長
渡部 勝幸



▲左から橋本札幌支店長、渡部工事長、江末主幹(教育長代理)

PLUS NEWS!!

PLUS NEWS!!

当社職員の活躍をはじめとする、新聞では知ることのできない西江建設の最新ニュースをお伝えします。

大樹町宇宙港構想

西江建設(株)は、大樹町による宇宙港「北海道スペースポート(HOSPO)」構想に賛同し、「企業版ふるさと納税」という形で1,000万円を寄付、また運営会社であるSPACE COTAN(株)に1,000万円の出資を行いました。

当計画は、大樹町ばかりでなく十勝全体の産業、交通網等に大きな影響を及ぼすものであり、当社としても全面的に支援したいと考えています。

出資への想い



取締役社長 西江靖幸

宇宙事業の進歩は全世界の夢。北海道スペースポート(HOSPO)構想は、その実現に近づくための第一歩と考えます。アジアの宇宙開発拠点として宇宙関連産業の誘致に伴う人口増加や観光による人流の増加は、十勝のみならず北海道全体のインフラ整備及び地域経済の活性化に大きな影響を与えてくれるものと期待しております。全社を挙げて応援して参ります。

北海道スペースポート (HOSPO)構想とは

現行の射場※LC-0に加えて、2025年までにLC-1、LC-2の2つの発射場を新設するほか、将来的には大型輸送機や宇宙船などが離着陸できる3,000メートル級滑走路を整備し、航空宇宙産業が集積する「宇宙のシリコンバレー」を目指す計画です。

本プロジェクトの推進は大樹町が行い、運営管理については新たに町が筆頭株主となり道内・道外の有力協賛企業で出資するSPACE COTAN(株)が行います。同社CEOには、全日本空輸(株)(ANA/NH)出身で、これまでエアアジア・ジャパン(株)のCEOを務め航空宇宙産業界に精通する小田切義憲氏が就任します。

※Launch Complexの略称、発射施設

▼ HOSPO公式サイト
(大樹町)



SPACE COTAN(株)

■社名

SPACE COTAN株式会社

■代表

代表取締役社長兼CEO 小田切 義憲

▼ 会社公式サイト



スケジュール <10月-11月>

■11月3日(水) 文化の日のため休業

■11月23日(火) 勤労感謝の日のため休業

次回「秋号」は11月末発行予定